

最近の経営環境に関する調査の結果について

（ 令和2年12月14日
商 工 労 働 局 ）

1 調査概要

- (1) 調査対象 県内中小企業 200社
 (2) 調査方法 郵送により調査票送付，FAX 及びメールにて回答
 (3) 調査時期 調査時点 11月15日
 調査票発送 11月11日 調査票回収 11月15日～25日
 (4) 回答企業数 123社（回収率61.5%）

業種	調査数	回答数	回答率
① 建設業	20社	13社	65.0%
② 食料・繊維関連製造業	20社	13社	65.0%
③ 木材・パルプ関連製造業	20社	9社	45.0%
④ 鉄鋼・金属関連製造業	20社	13社	65.0%
⑤ 一般・電気機械製造業	20社	14社	70.0%
⑥ 輸送用機械製造業	20社	10社	50.0%
⑦ その他製造業	20社	11社	55.0%
⑧ 情報通信・運輸業	20社	13社	65.0%
⑨ 卸売・小売業	20社	13社	65.0%
⑩ 不動産・サービス業	20社	14社	70.0%
合計	200社	123社	61.5%

(5) 概況

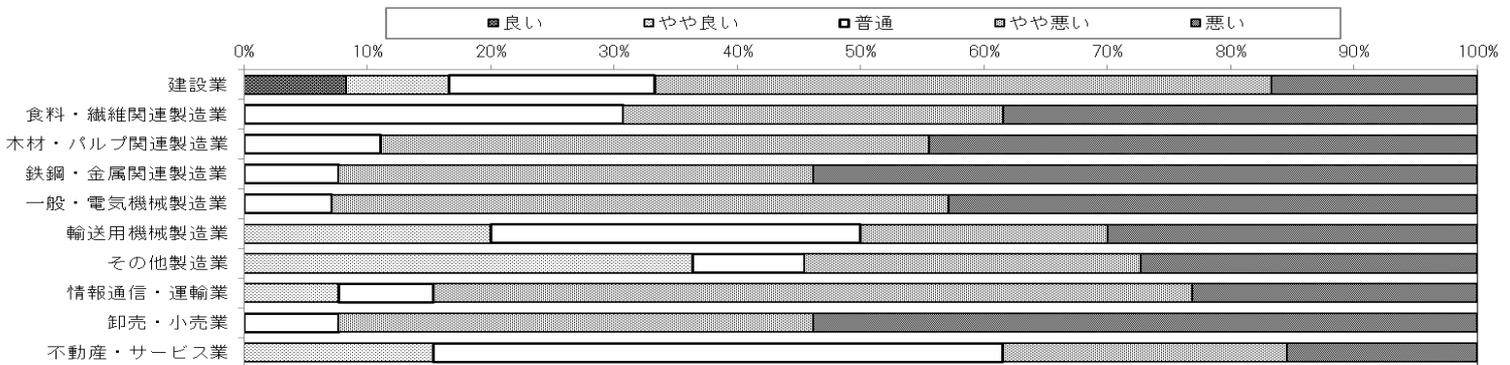
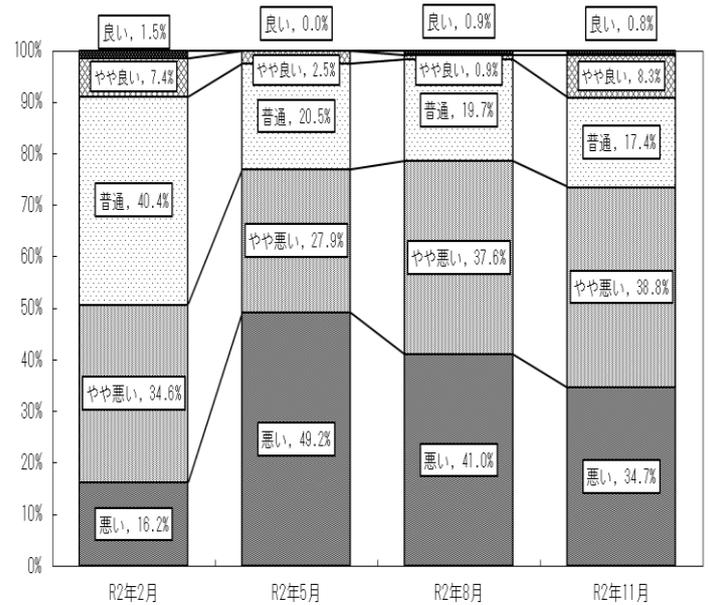
- ・ 最近の景況感について、「悪い」と回答した企業は34.7%（42社）となっており，前回調査（R2年8月）と比べ，6.3ポイント減少した。前々回調査（R2年5月）と比べ，14.5ポイント減少しており，景況感は改善傾向にある。
- ・ 直近3ヶ月の売上高を前年同期と比較すると，「10%以上減少」と回答した企業は，51.6%（62社）となっており，前回調査より14.0ポイント減少している。
- ・ 今後の経営見通しについては，「今の状況が続く」と回答した企業数は78.3%（94社）となっており，前回調査より14.0ポイント増加し，「悪化」が14.2%（17社）と17.1ポイント減少した。
- ・ 資金繰りにおける今後の不安材料として，「売上が改善しない」と回答した企業は66社と最も多く，次いで，「費用が削減できない」18社の順であった。一方で「懸念なし」も42社あった。

2 最近の経営環境に関する調査

(1) 最近の業況

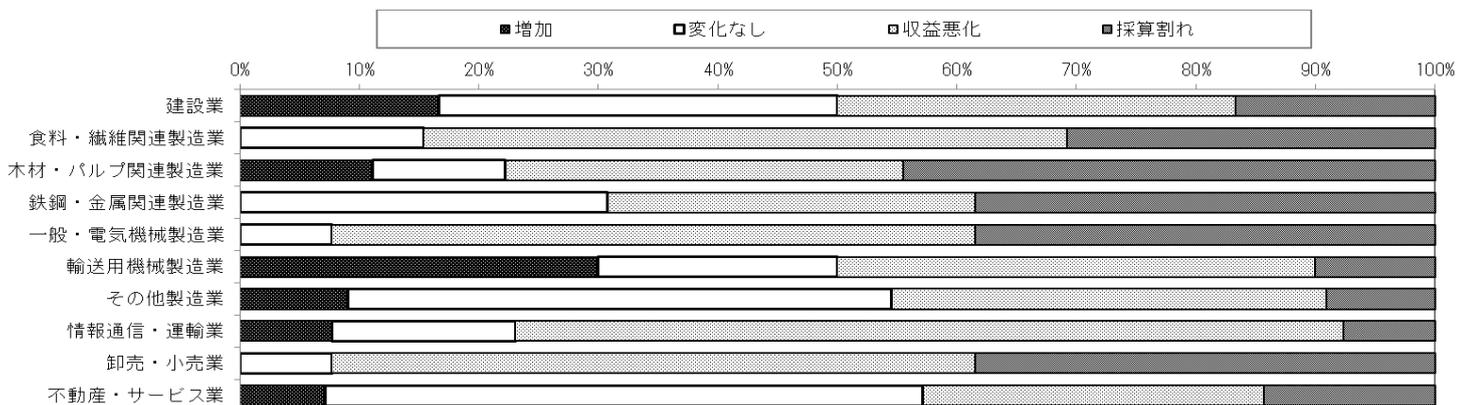
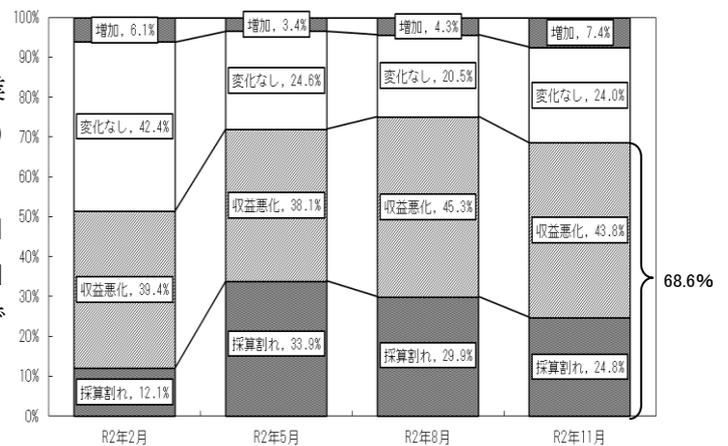
① 最近の景況感

- ◆ 「悪い」と回答した企業は 34.7% (42 社) となっており、前回調査 (R2 年 8 月) から 6.3 ポイント減少し、前々回調査 (R2 年 5 月) から、14.5 ポイント減少している。
- ◆ 業種別に見ると、「悪い」、「やや悪い」とする割合が、「木材・パルプ関連製造業」「鉄鋼・金属関連製造業」「一般・電気機械製造業」「情報通信・運輸業」「卸売・小売業」で 8 割以上となっているが、「輸送用機械製造業」は 50.0% となっており、前回調査と比べ、30.0 ポイント減少している。



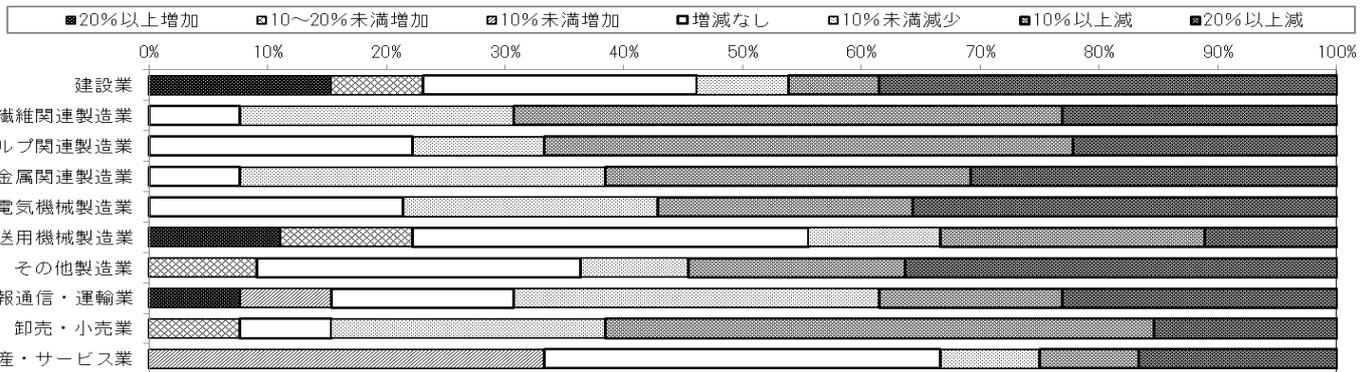
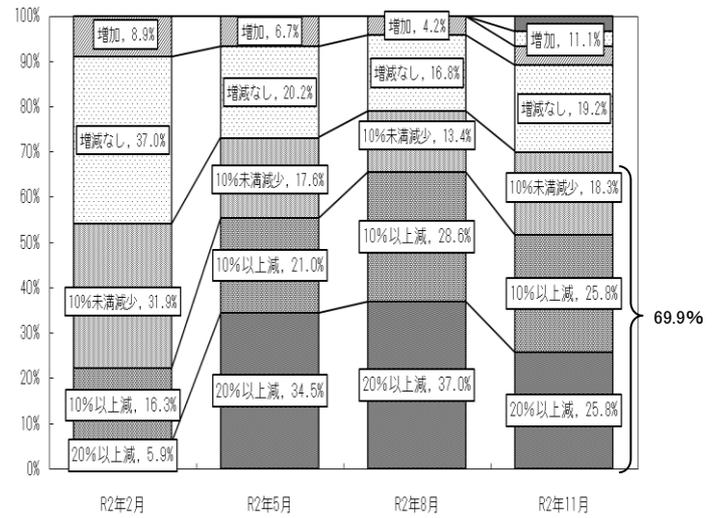
② 収益状況

- ◆ 「採算割れ」、「収益悪化」と回答した企業は、68.6% (83 社) と前回調査 (R2 年 8 月) より 6.6 ポイント減少している。
- ◆ 業種別に見ると、「採算割れ」、「収益悪化」と回答した割合が、「食料・繊維関連製造業」「一般・電気機械製造業」「卸売・小売業」で 8 割以上となっている。



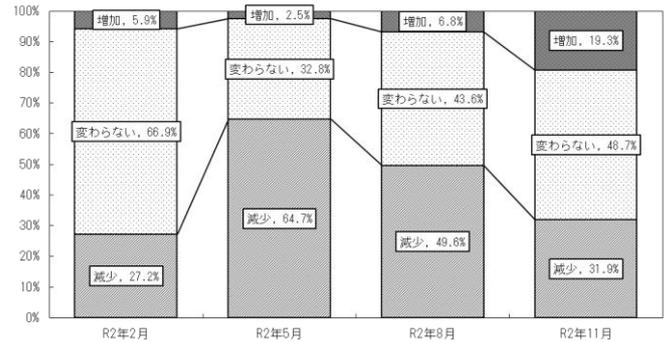
③ 売上高の変化

- ◆ 直近3ヶ月の売上高を前年同期と比較して「減少」と回答した企業は、69.9%（84社）となっており、前回調査（R2年8月）より9.1ポイント減少している。
- ◆ 業種別に見ると、「減少」と回答した企業は「食料・繊維関連製造業」「鉄鋼・金属関連製造業」「卸売・小売業」において8割以上となっている。



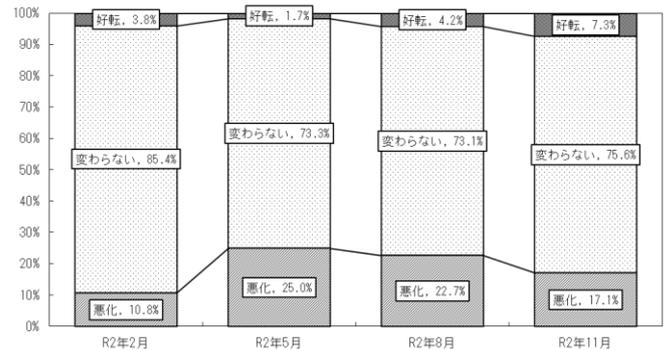
④ 最近の操業状況

- ◆ 3ヶ月前と比べた最近の操業状況は、「減少」と回答した企業が31.9%（38社）と前回調査（R2年8月）より17.7ポイント減少し、「増加」と回答した企業が19.3%（23社）と前回調査より12.5ポイント増加した。



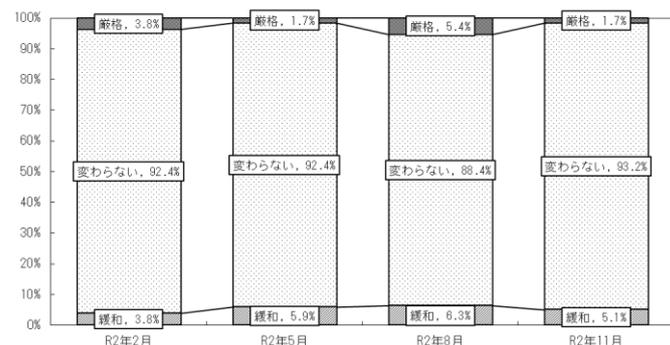
⑤ 最近の資金繰り

- ◆ 最近の資金繰りは「変わらない」と回答した企業が75.6%（93社）と最も多かった。その他の回答内容について、前回調査（R2年8月）と比べ、「好転」と回答した企業が7.3%（9社）と3.1ポイント増加し、「悪化」と回答した企業は17.1%（21社）と5.6ポイント減少した。



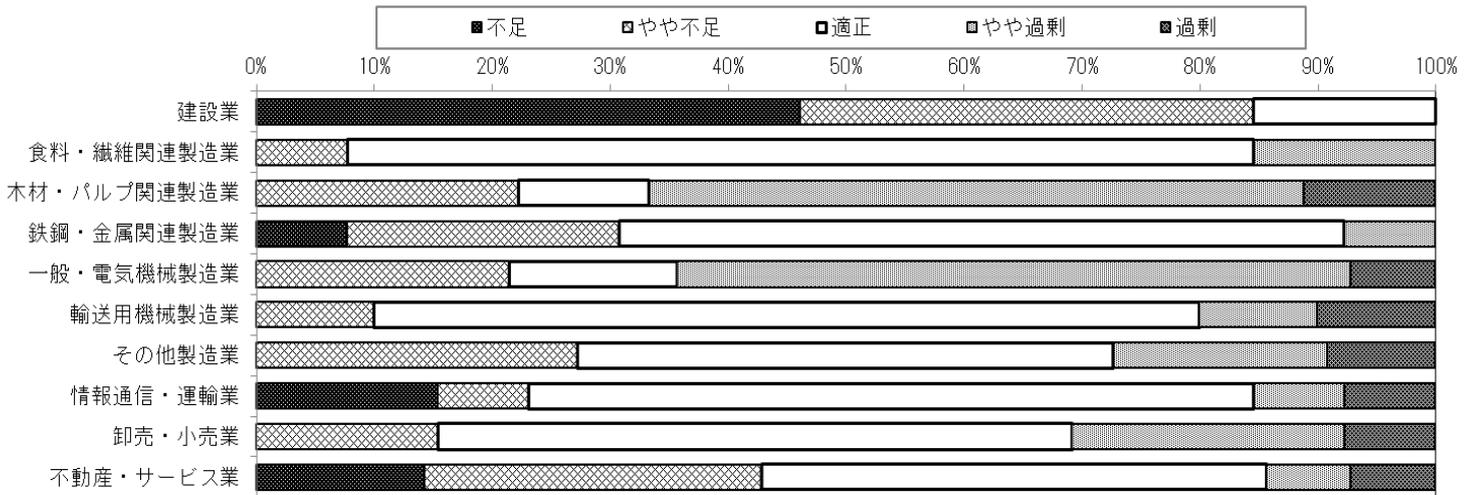
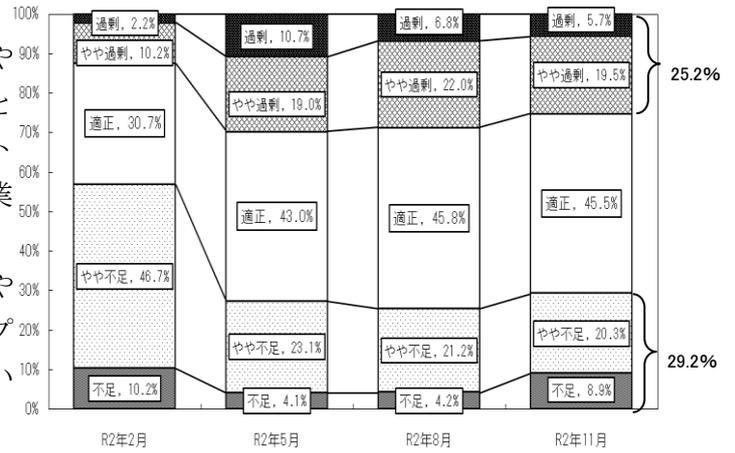
⑥ 民間金融機関の貸出し態度

- ◆ 「変わらない」と回答した企業が93.2%（110社）と最も多かった。前回調査（R2年8月）より、「厳格」と回答した企業数は1.7%（2社）と3.7ポイント減少している。



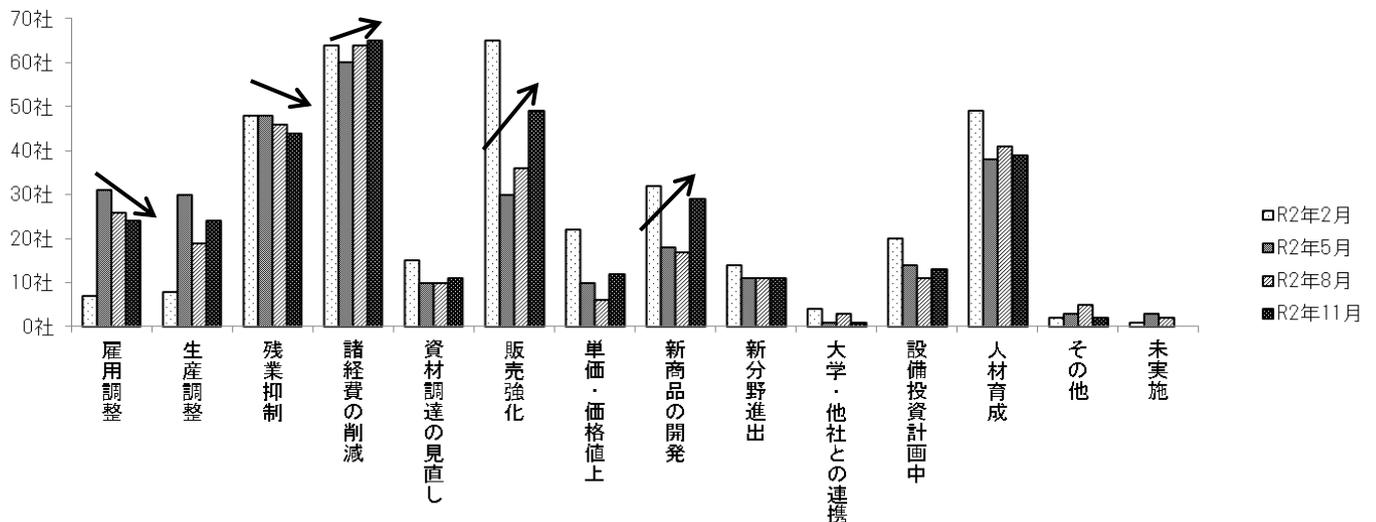
⑦ 従業員の過不足感

- ◆ 従業員の過不足感については「過剰」「やや過剰」と回答した企業数は25.2%（31社）と前回調査（R2年8月）と比べ、3.6ポイント減少し、「不足」「やや不足」と回答した企業数は29.2%（36社）と3.8ポイント増加した。
- ◆ 業種別に見ると、従業員が「過剰」「やや過剰」と回答している割合が、「木材・パルプ関連製造業」「一般・電気機械製造業」において5割以上となっている。



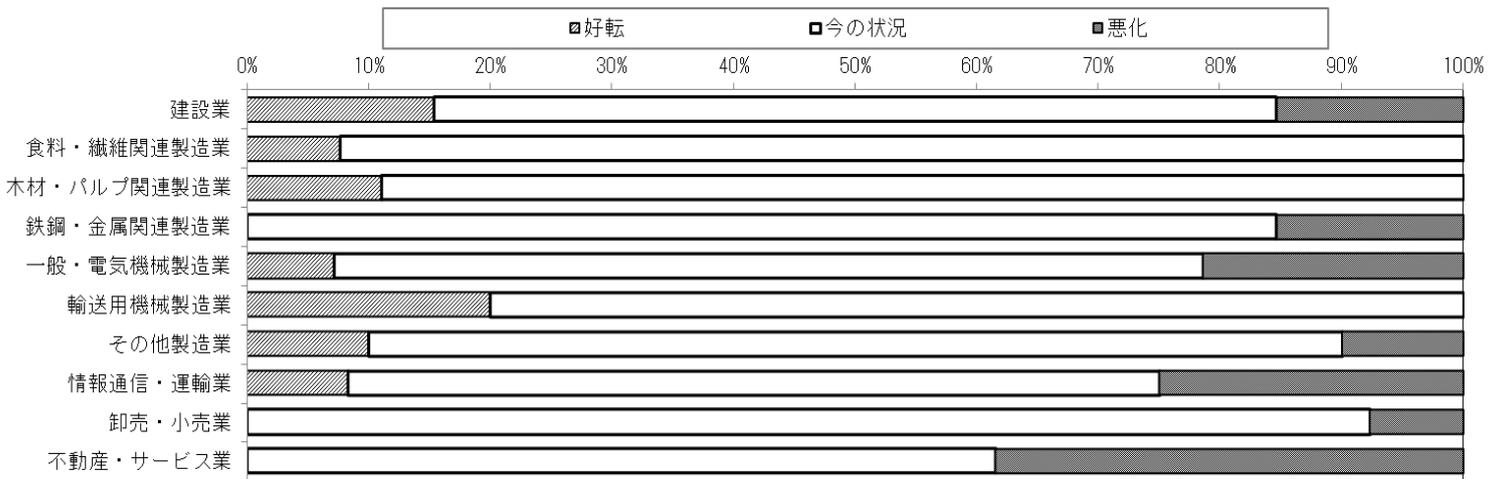
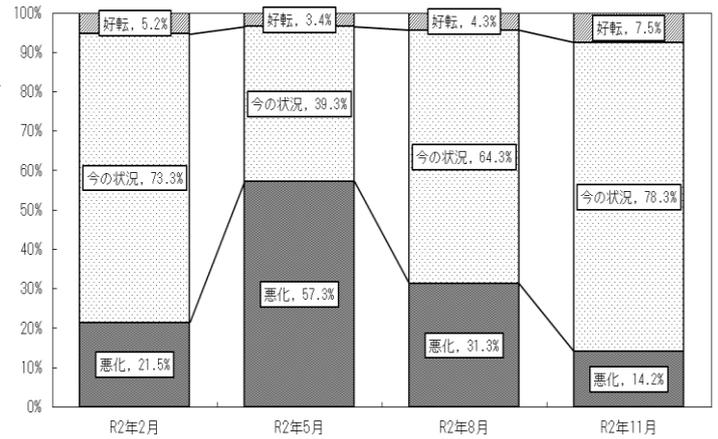
(2) 経営改善策

- ◆ 過去3回の調査結果の傾向として、「販売強化」「新商品の開発」と回答した企業数は増加傾向にあり、「諸経費の削減」は微増傾向にある。一方、「雇用調整」「残業抑制」は微減傾向にある。



(3) 今後の経営見通し

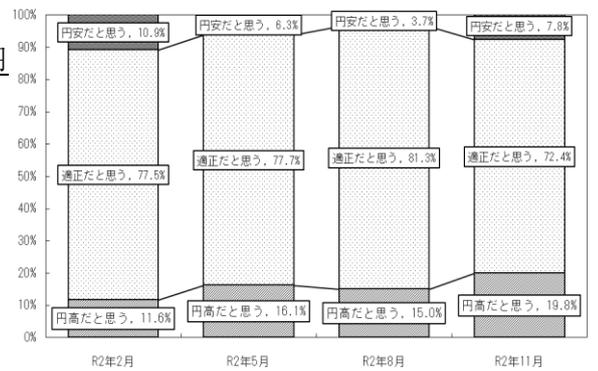
- ◆ 今後の経営見通しについては、「悪化」が14.2%（17社）と17.1ポイント減少し、「好転」「今の状況が続く」と回答した企業数は85.8%（103社）と前回調査（R2年8月）と比べ17.2ポイント増加した。
- ◆ 全業種において「今の状況」と回答した割合が過半数であるが、「悪化」と回答した企業は「不動産・サービス業」が38.5%となっている。



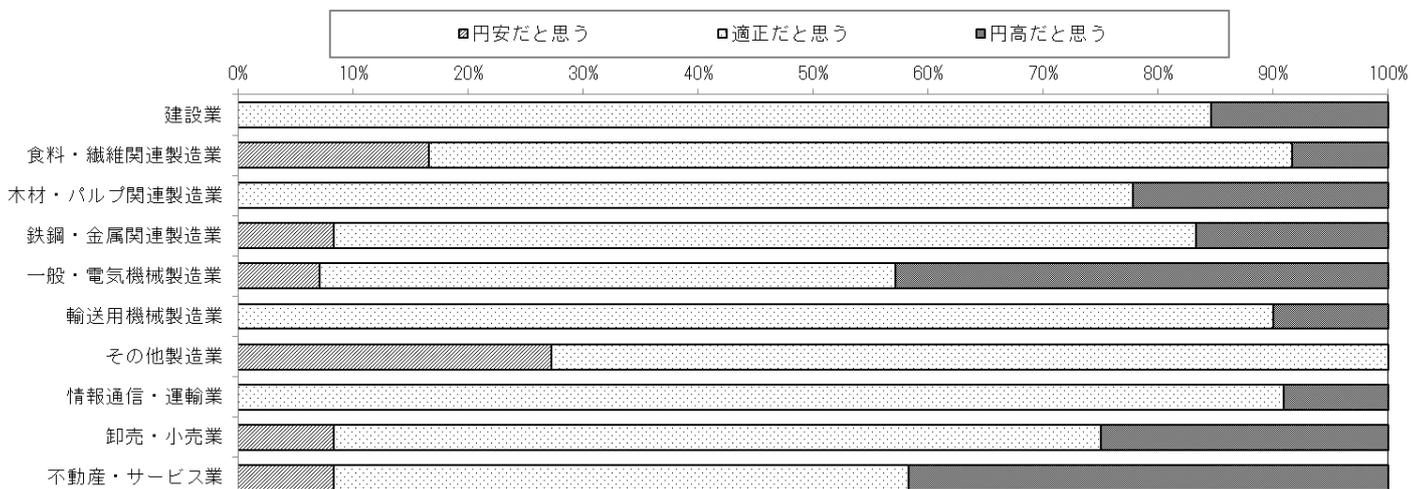
3 円相場の認識に関する調査

◎調査時点直近（11月16日）の為替レート1ドル104.4円

- ◆ 「適正だと思う」と回答した企業は、72.4%（84社）となっており、前回調査（R2年8月）より8.9ポイント減少し、「円高だと思う」が19.8%（23社）と4.8ポイント増加した。
- ◆ 業種別に見ると、「一般・電気機械製造業」「不動産・サービス業」で「円高」だと認識している企業の割合が高い。



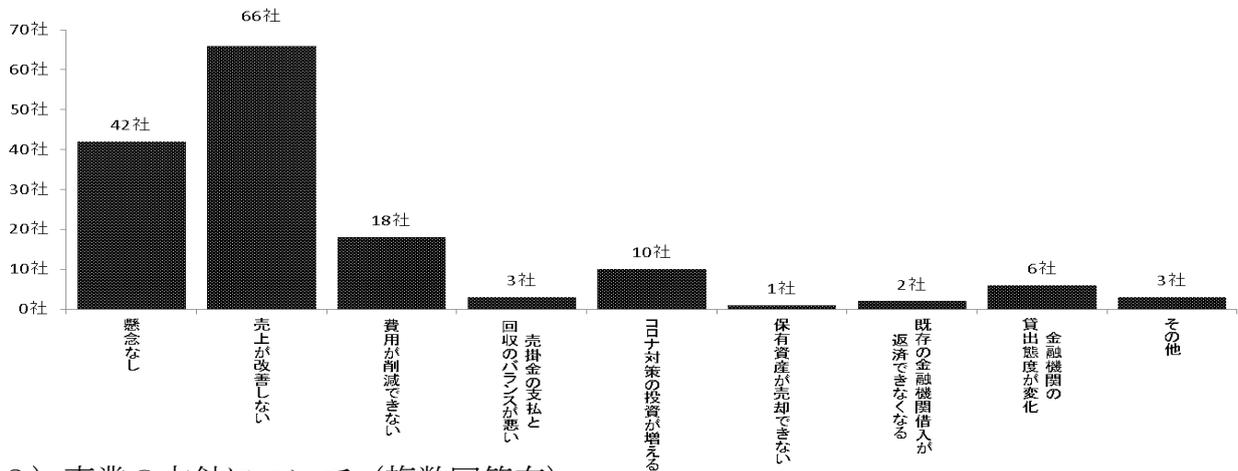
108.6円/ドル 106.9円/ドル 105.9円/ドル 104.4円/ドル



4 新型コロナウイルス感染症による影響について

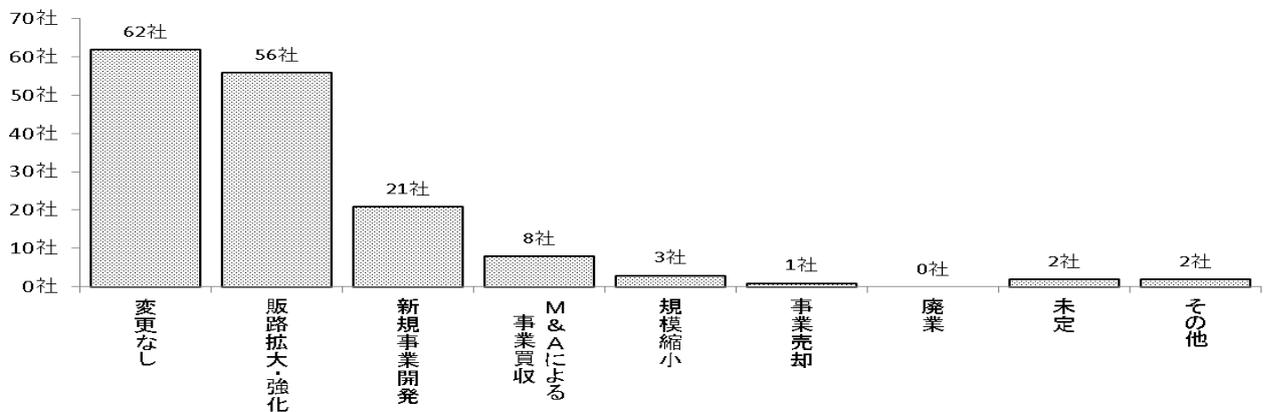
(1) 資金繰りにおける今後の不安材料について（複数回答有）

- ◆ 資金繰りにおける今後の不安材料として、「売上が改善しない」と回答した企業は 66 社が最も多く、次いで、「費用が削減できない」18社の順であった。一方で「懸念なし」も 42社あった。
- ◆ 業種別に見ると、「売上が改善しない」と回答した割合が5割以上となったのは、「食料・繊維関連製造業」「木材・パルプ関連製造業」「鉄鋼・金属関連製造業」「情報通信・運輸業」「卸売・小売業」であった。



(2) 事業の方針について（複数回答有）

- ◆ 業種全体として「変更なし」62社が最も多く、次いで「販路拡大・強化」56社の順であった。
- ◆ 業種別に見ると、「食料・繊維関連製造業」「卸売・小売業」「一般・電気機械製造業」で「販路開拓・強化」「新規事業開発」と回答した割合が6割以上であった。



(3) 今後、行政に求める支援策（複数回答有）

- ◆ 業種全体として、「IT 導入相談・経費補助」が 34 社と最も多く、前回調査（R2年8月）と比べ増加した。次いで「金融支援」31社、「従業員の失業対策・雇用対策」27社の順であったが、前回調査と比べ減少した。

